

ダニによる感染症に注意!!

ダニによる感染症とは…

ダニ（マダニ類やツツガムシ類）に咬まれることによって、感染症にかかることがあります。次の感染症は、佐賀県で発生が確認されているものです。

重症熱性血小板減少症候群 (SFTS)

- 病原体：SFTS ウイルス
- 病原体を持つダニ：マダニ類
- 症状：発熱、消化器症状（下痢など）など（重症化し、死亡することも）

つつが虫病

- 病原体：つつが虫病リケッチア
- 病原体を持つダニ：ツツガムシ類
- 症状：発熱、発疹、リンパ節の腫れなど

日本紅斑熱
こうはんねつ

- 病原体：日本紅斑熱リケッチア
- 病原体を持つダニ：マダニ類
- 症状：高熱、発疹など

「マダニ類」「ツツガムシ類」

マダニ類やツツガムシ類は、草むらや藪などに生息しているダニです。「ダニ」といっても、食品等に発生するコナダニや衣類や寝具に発生するヒョウヒダニなど家屋内に生息するダニとは種類が異なります。



（広島県立総合技術研究所 保健環境センター提供）



山口県撮影
島根県撮影
※マダニは吸血すると形と大きさが変わります。

ダニによる感染症にかからないために

ダニに咬まれないことが重要です

予防法・対応法は裏面をご覧ください。➡

ダニ対策

●草むらや藪など、ダニの生息する場所で活動する場合●

- ①長袖、長ズボン、足を完全に覆う靴を着用し、なるべく肌の露出を少なくしましょう。
- ②服や靴の素材等は、白っぽい色で滑りやすい素材を選ぶと、ダニが付着しても発見しやすく、またマダニも付着しにくくなります。
- ③首にかけるタオルや脱いだ上着などは直接地面に置いたり木にかけたりせず、出来るだけバッグの中などにしまうようにしましょう。

●草むらや藪など、ダニの生息する場所で活動した後は●

- ①服などにダニが付着している可能性があるため、車や自宅に入る前に服などはたたきましょう。
- ②ダニに咬まれてないか確認してください。



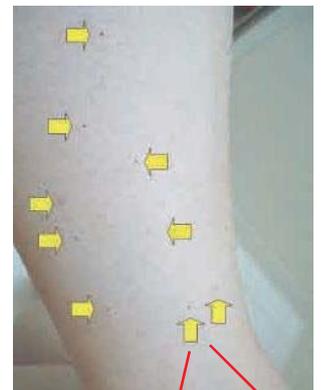
ダニに咬まれたら…

- 放置すると数日間以上吸着して吸血し続けますので、みつけたら早めに取り除くことが肝心です。
- 吸血中のマダニを無理に引き抜こうとすると、マダニの一部が皮膚内に残ってしまうことがあるので、できるだけ病院(皮膚科)で処置を受けてください。自分で取る場合には、先の細かいピンセットを用い、できるだけ皮膚に近い部位でダニをつまみ、つぶさないように注意して取り除きます。取り損ねて一部が残ってしまった場合には、病院で取ってもらってください。
- 咬まれてからしばらくして(数日~2週間程度)発熱・発疹・消化器症状(下痢など)などの症状が出た場合には、早めに病院を受診し、ダニに咬まれたことを医師に教えてください。日本紅斑熱やつつが虫病には、有効な治療薬があります。

※ダニに咬まれても、痛みやかゆみはあまりなく、気づかないことが多いようです。

もし、ダニが生息する場所で活動した後、数日たってから発熱・発疹・消化器症状(下痢など)などの症状が現れた場合は、早めに病院を受診しましょう。

脚に吸血するマダニ(若虫)



問い合わせ先

(広島県立総合技術研究所 保健環境センター提供)

機関名	電話番号	機関名	電話番号
佐賀中部保健福祉事務所 感染症対策担当	(0952) 30-3622	鳥栖保健福祉事務所 健康推進担当	(0942) 83-3579
唐津保健福祉事務所 健康推進担当	(0955) 73-4186	伊万里保健福祉事務所 健康推進担当	(0955) 23-2101
杵藤保健福祉事務所 健康推進担当	(0954) 22-2104	佐賀県健康増進課 感染症対策担当	(0952) 25-7075